

宇都宮市立宝木小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善	・対話や協働的な学習を取り入れた授業実践に努め、児童が積極的に自分の考えを伝え合い、ともに学び合える学級集団の育成を目指す。導入や発問、ICTを活用するなど学習活動を工夫し、多様な方法での学び合いを実践していく。	・「グループなどでの話合いに自分から進んで参加している」の設問に対する肯定的割合は市の平均を下回っている。また、「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる」の設問に対する肯定的割合は、学年差があるものの、おおむね同等か下回っている。
・家庭学習の習慣化・継続化への手立てや取り組みの提示	・学習がんばり週間を年2回設定し、家庭と連携して家庭学習の習慣化を目指す。また、「陽西地域学校園学習の手引き」や「家庭学習の進め方」を活用して、家庭学習の質の向上に努める。	・平日の家庭学習の時間は市と同等であるが、土日の家庭学習を「ほとんどしない」と回答する割合が市の平均を上回っている。また、「新しく習ったことは、何度も繰り返し練習している」「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」の設問の肯定的割合は市の平均を下回っている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・話合いに自分から進んで参加したり、話合いを通じて自分の考えを深めたり広げたりすることが難しいと感じている児童が多くみられる。対話を取り入れた学びについて、「宇都宮モデル」をもとに授業改善を進めているが、教師自身が児童同士の発言を結び付けたり深めたりするコーディネート力をさらに向上させる必要がある。また、授業の中で、根拠や理由を問い返す発問を行ったり、ペアやグループでの学習や一人一台端末を活用した意見交流を積極的に取り入れるなど、対話的な授業の改善を継続していきたい。

・学習して分かったり、できるようになったりすることはうれしいと感じている児童の割合は高いことから、基礎基本の確実な定着を図り、分かる・できる体験を繰り返し経験し、学ぶ楽しさを味わわせることで自己肯定感を育てていきたい。

・家庭学習の習慣化は継続的に取り組むことと家庭との連携が必要である。どのような学習が効果的か、学習方法や学習内容についても家庭に啓発しながら継続的に指導を続けていきたい。